

聖母月を迎えて

主任司祭 吉池 好高

さわやかな五月の風に乗って聖母月を迎えました。復活された御子によって吹き込まれた聖霊の息吹がわたしたちの間にも吹き渡るよう聖母の取次ぎを願いましょう。

「主の死を想い復活をたたえよう、主が来られるまで」。いつでも主をお迎えする用意が整った心で、聖母とともに主が与えてくださった恵みを心のうちに思い巡らし、たがいにその思いを分かち合いましょう。

わたしたちの日々がどのように経過しようとも、その全ての日々は、わたしたちを裁くためにお出でになられる主を待つ日々です。わたしたちの全てを知っておられる主がわたしたちを裁かれるということは、恐ろしいことのように思われますが、わたしたちを裁いてくださる主は、復活されて弟子たちのところに来てくださった主です。十字架の主について行くことができなかつた弟子たちに、ご自分が生きておられることを示すために戻って来てくださった主です。弟子たちのいたらなさを一言もおせめにならず、「あなた方に平和」と呼びかけてくださる主です。

自分たちの不甲斐なさから抜け出せずにいる弟子たちをご自分の懐に引き寄せ、神であるお方だけが持つておられる、あらゆる仕打ちにも屈すことなく、そのすべてをあわれみをもってゆるしてくださる主が、わたしたちを罪から清めるために裁いてくださるのです。

復活された主の裁きに真実服することができるとき、わたしたちは神の子らとして清められるのです。空しく過ぎて行くとしか思えない日々の中にあつて、わたしたちの最終的なさばき主となつてくださる主を迎える希望を持ち続けることが出来ますように。人が裁くのも、自分自身が裁くのもない、全てを知っておられる主の裁きに望みを置いて、約束されているわたしたちの復活の日を待ち望みましょう。

「主の死を想い復活をたたえよう、主が来られるまで」。主の死と復活によって約束されている復活の日を待ち望みながら、神の恵みに満たされた聖母とともに、救いの喜びを知った者たちをとして、聖母のもとに集いましょう。復活された主は聖母の心のうちに、そしてわたしたちの心のうちにいてくださるのです。